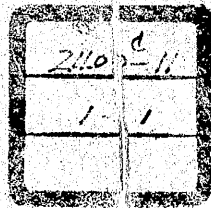


電子複写不可

独混史資料

(二)

防衛研修所
戦史室



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 (70) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 (80) 1 2 3 4 5 6 7

(二) 獨 混 史 實 資 料

獨立混成第二步兵隊第一大隊

獨立混成第二步兵隊第二大隊 (國頭隊)

獨立混成第二步兵隊第三大隊

獨立混成第四旅團工兵隊

遊擊隊第三大隊

遊擊隊第四大隊

獨立混成第四旅團砲兵隊

沖繩作戰於此

獨立混成第四十四旅團第二步兵隊第一大隊史實資料

伊江島

昭和二十二年三月二十五日

第三十二軍 陸務整理部

部隊經歷概要

昭和十九年六月二十九日

富山丸遭難事件、動員關係月日不詳
残存者五百名、于假編宇工聯隊、編成於冲繩
縣國頭郡名護

八月十五日

西部第十七部隊、於于独混呂旅團第二步兵隊
要員、動員完結

十九日

西部第十七部隊出發
鹿兒島縣立第一中學校、於于宿營

十八日
二十七日

鹿兒島港出帆(天信丸)

大信丸火災、多々奄美大島名瀨港、不時停港、

名瀨國民學校、宿營

名瀨港出發(廈門丸)

冲繩縣國頭郡名護港、上陸、名護國民學校及

名護中學校、宿營

八月二十九日
九月一日
二日
四日

不日 假編字工聯隊、步兵隊要員並、現地召集兵

十二日 以下、独混予四旅團予二步兵隊、編成着手、
編成完結

十三日 團頭那、名護、羽地地區、防衛、任じラル

九月十八日 伊江島飛行場設定特援作業、從事

十月二日 本部半島、真部山、崎本部、桃山地區、防衛、任じラル

七日 南西空襲

十日 桃山地區、移動、真部山、建堅背後高地、配備
完了、陣地構築、専念ス

十一月二十日 伊江島進駐、命到ル

十一月一日 伊江島進駐

二日 部隊進駐ト共ニ以前、三回島ニ進駐也、シテ、
独立連射砲隊七大隊第一中隊(隊長 諸江大尉)獨立
機關銃第四大隊第三中隊(隊長 小川中尉)ヲ指揮
下ニ收ム

昭和三十年一月二十日

三月一日

二月上旬

部隊各々分遣隊ヲ「マシヤ」燈台附近(永徳少尉指揮
ニ分隊)「山山」附近(橋本少尉指揮、ニ分隊)「マシヤ」
宗(前田中尉指揮、ニ分隊)独機(一分隊)ニ所入出ス
敵機動部隊ニ空襲

現地防衛召集ニル防衛隊約九百名(伊江島へ來
島駐屯、之ト飛行場大隊(部隊長 田村大尉)及ニ

井川部隊、三部隊ヲ以テ伊江島守備隊編成セル
井川少佐伊江島地區隊長トシ、各部隊、守備担当者

區域ヲ決定ス。即チ井川部隊、東飛行場ヲ管ル
カ、以東地域、田村部隊、飛行場地域

防衛隊ハ「マシヤ」山山地域一帯、
此、担任決定シ、三部隊、燈台、山山、分遣隊ヲ本隊

ニ復歸セシメ、同時、伊江城、小栗方ニ對スル陣地強化
ヲ許ル

二月上旬

田村飛行場部隊ニ對シ、伊江島飛行場破壊並ニ

本島へ引揚命令下達ナル并川部隊及び防衛隊、右一部七破壊作業ヲ取扱ス。
敵沖島來寇敵艦載機伊江島來襲

三月二十三日
甲号戰備發令

四月一日
敵嘉平納北各方面上陸

四月十日
本部羊島八重嶽聯隊本部ト連絡途絶

四月十六日
敵伊江島上陸多艘砲射撃開始

四月十六日
敵伊江島山山海岸上陸戰闘開始ナル

四月十七日
敵新波上場方面ヨリ新上陸

四月十七日夜
部隊夜襲ヲ敢行

八日掃蕩

四月十八日
學校高地、攻防戰闘開始、三七ノ原分遣隊奮戰至碎

四月十九日
學校高地、墓地附陣地、爭奪戰

四月二十日
學校高地方面、對スル總攻撃

四月二十一日
最後、突撃

四月二十一日以後終戦ニ至ル間、残存者ヨリ遊撃ヲ行

戰闘經過、概要

一、戰闘經過(其一) 敵沖繩來寇ヨリ伊江島上陸ニ至ル間
(自昭和二十年三月二十三日 四月十五日 至)

1. 三月二十三日 敵艦載機編隊、伊江島來寇乙号戰備發令

2. 三月二十四日 敵艦載機來襲
島尻郡湊川、中城湾正面ニ敵機動艦隊出現、艦砲射撃

並ニ度良間列島上陸情報ヲ聞ク、
甲號戰備發令、各隊ハ直ニ配備、就テ警戒成リ嚴ニス。

3. 三月二十六日 一三〇〇ヨリ約四時間、互ニ敵艦砲射撃、伊江島飛行場

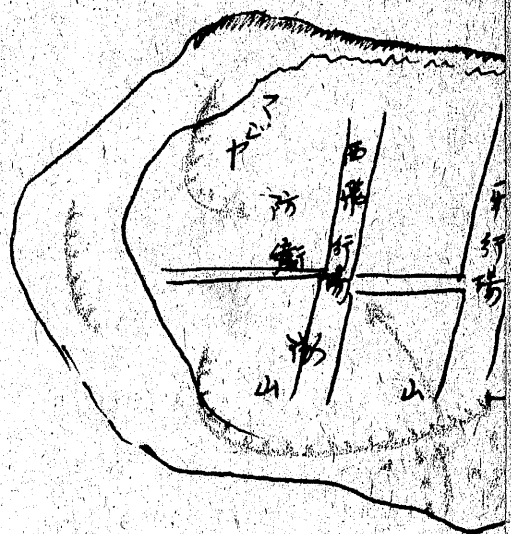
部、海岸線一帯、加ハラル。

4. 三月二十七日 敵伊江島上陸、算大ナリト、聯隊情報アリ、大嶽八陣地、資料

、掩護整備一努ム。

5. 四月一日 敵嘉平納北各方面上陸開始

6. 四月八日 敵乙号ニ接伊江島東海岸、對スル第一中隊、墓地陣地



(一) 四月十六日

此日拂曉、伊江島の周辺に戦艦、重巡、合計六十隻以上、機撃隊を包圍し、前日同様、猛烈な艦砲射撃を開始す。此、掩護射撃の下に、敵の掃蕩、中飛行場、南端附近の山、海岸ヨリ上陸を開始す。中型戦車數十輛ヲ運付、トスル敵ハ一氣に同正面ヲ攻撃シ、アリ、田村飛行場大隊及び防衛隊、準地前、殺到シ、ソノ一部ハ早ク毛塚上三馬乗ヲスルニ到ル。飛行場部隊、柴田少尉ハ小隊ヲ率中テ敢然壕ヲ躍リ出テ、戦闘ヲ交ヘ全員壯烈ニ戦死ヲ遂ゲ

防衛隊、田村部隊、爾他、各隊ハ苦戦奮闘シ、夜入ルヲ待テ、敵を重圍ヲ脱出、新込隊ヲ編成シテ遊撃ヲ戦ハシメ、防衛隊一部ハ「マギ」ニアル同部隊本部ニ集結シ、部隊長儀保中尉指揮下ニ專ラ山々方面ヘ遊撃ヲ戦ハシメ、田村部隊、大部ハ同夜田村大隊以下脱出シテ遊撃ヲ展開シ、井川部隊ト合流セシトシテ、伊江城山方面ヘ再進ス。

二二。○頃、田村部隊ヨリ、下士官ノ傳令ニヨリ、敵上陸ノ報告ヲ受ケ、井川部隊ハ部隊各隊ニ命令シテ警戒ヲ一層厳シクシ、生死勝敗ヲ超越シ、死守ノ任ヲ戰闘ヲ遂行セシ事ヲ要シテス。

二三。○敵中隊戦車數輛、城西西方一軒附近ニ出現シ、西進シ、之ニ對テ、我が独逸ハ的確ニ射撃ヲ加ヘ、一時ニシテ、三輛ヲ擧ゲセシム。敵車キ、後退セントシ、戦車一輛ハ我軍被シ、小機雷ヨリ大破擧ガシ。

二四。○敵ハ水納島ニ砲六門ヲ揚添ス。

二五。○陸軍ノ詳細ヲ偵察スル爲、第三中隊橋本勇二少尉ヲ長トシ、將校作候、同夜山々方面ヘ進發ス、同隊後ハ敵中隊ヲ潜入シテ偵察中、敵ハ包圍シ、少尉ハ重傷ヲ受ケ、幸ニ脱出シ、報告ヨリ、敵ハ山々海岸